

令和 01 年度 第 2 回運営協議会

1.開催日 令和 02 年 01 月 30 日（水）10：00～

2.開催場所 介護老人福祉施設 清静園 応接室

3.出席者 委員 安東 元夫 委員 一万田範彦
 委員 一水 勝徳 委員 玉井 照代
 委員 吉田 亮

4.その他出席者 事務長代理 渡辺 隆

次 第

5.会長挨拶

6. 報告書の審議

7. 令和 2 年度運営協議会の取組みについて

8.その他

会 長	一万田範彦	<p>10：00 開会 運営協議会議開催にあたり、次の通り説明・報告した。尚、議事録の作成は玉井委員及び吉田委員にお願いした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員 5 名全員が出席し、定款細則第 6 条第 2 項の規定により会議が有効であることを確認した。 2. その他出席者である理事長、事務長代理を確認、謝辞を述べた。 3. 本日の議題は次のとおりであること。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 報告書の審議 (2) 令和 2 年度の運営協議会の取組みについて (3) その他 <p>以上 1.～3.について説明後、定款細則第 5 条第 2 項の規定により会長が議事進行することを宣言し、議事に入った。</p>
議 長	一万田範彦	<p>議題 (1) 報告書の審議について以下の会長試案資料を説明した。</p> <p>○報告書の全体の構成について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.はじめに 2.これまでの清静園避難所利用状況 3.調査結果の概要 4.終わりに 5.資料内容 <ol style="list-style-type: none"> ①自治区別移動人数 ②清静園避難所を希望する者一覧表 ③2 年前調査した際、清静園を希望しなかった者 ④各自治会長依頼文書及び添付書類 ⑤自治会長への依頼文書 ⑥自治会長からの回答文書 <p>尚、資料内容②③については、個人情報取り扱いの厳重注意を喚起した。</p>
議 長	一万田範彦	<p>議題 (1) 報告書の審議について内容及び資料の各委員による修正等、意見を求めた。また、審議後修正したものを会長より理事長へ提出する旨を述べた。</p>
委 員	一水 勝徳	<p>報告書「4.終わりに」の内容について以下の意見を述べた。</p> <p>「清静園避難所を利用すれば食事をはじめ全て面倒見てくれるという誤った認識を持った一部の民生委員の方もおられる」について</p> <p>誤った認識を持った民生委員が確かにおりましたので、民生委員定例会にてしっかりと説明しました。</p>

委員	玉井 照代	報告書「4.終わりに」の内容について以下を報告した。 「今後利用に際しては、自活できない者は介護者を要するかショートステイを利用することを周知する必要がある」について 該当者がおられる地区の自治委員さんに“ショートステイ”のしくみを説明し、ご理解いただけました。今後の避難対策の一つとして、ショートステイ利用の提案をお願いしました。
議長	一万田範彦	周知必要性の確認事項として承認した。次に全体構成のうち 1.~4.についての修正等の意見を求めた。
委員	全 員	意義なく承認を得た。
議長	一万田範彦	報告書 5.資料内容の「②清静園避難所を希望する者一覧表について」の審議を諮り、結果を以下にまとめた。 ・9月調査日以降の死亡・入所等、移動について各委員より状況報告があり、資料①②を修正する必要がある。 ・取り纏め期限について 各委員からの修正提出を2月7日までとし、その後会長が報告書を清書し、1週間以内に理事長へ提出する。
議長	一万田範彦	以上の報告書について審議を諮り、議題（2）へと進めた。
委員	全 員	異議なく、承認の意を表した。
理事長	大島 敏武	会長の労をねぎらうとともに「そうしてもらえるとありがたい」と謝辞を述べた。
議長	一万田範彦	議題（2）令和2年度運営協議会の取組みについて意見を求めた。
理事長	大島 敏武	法人要望を論議し、結果を以下にまとめた。 ①施設に対する要望・避難の件等あれば情報をどこかで集めてもらいたい。 ②令和3年3月以降の予定として 建て替え事業に伴う不要品を整理し、地域へ貸与又は提供する。そのための物品整備と一覧表を準備する。 ③災害時の発電機・防災機器・非常食の地域への貸出について
理事長	大島 敏武	運営協議会の取組みに関連し、「地域ニーズ」について今後の構想を以下のように述べた。

②について

- ・現在、大規模災害の対策として防災資材を年度計画で整備している。今回の建て替え事業における仮設への移転時及び建て替え完了後の新施設への移転時には、現在使用しているテーブル・ソファ・車椅子・ベット等が不要となる予定である。不要品の整理後、リストを準備、情報提供するので地域での行事等がある時に利用してもらえれば貸与や提供等を考えている。

③について

- ・整備計画にあたり平成 31 年度大分市へ補助金を申請し、リクライニング車椅子・普通車椅子各々6台ずつ内辞決定している。整備後は、施設整備分から車椅子等も必要な人や地域があれば貸与できる。
- ・安東委員より“非常食の貸出”についての意見に回答
ケアマンション 50・グループホーム 8・特養 150・ショート・通所介護を含め全事業所顧客の 10 日分（朝・昼・夕の 3 回×10 日）を備蓄計画し整備中である。非常食の貸出または提供の対応は可能である。それに伴う保管用菜庫も大型・中型を準備し、場所確保も完了している。今年度は灯油・ガソリン等の燃料の保管庫について消防署の許可を得て 2 月から 3 月で整備する。
- ・安東委員より“発電機の貸出”についての意見に回答
発電機については、年度計画に即して整備している。来年度に補助金申請を予定している。将来的には何台かストックし、地域の必要なところに貸し出すことを検討予定。

委員 安東 元夫

地域のための法人の構想を伺い、「ありがたい」と感謝を述べた。
自治公民館を避難場所として開設する場合、非常食等の備蓄や発電機等の機器整備までは、補助金制度もなくできない。地域の施設に困った時の相談ができ、また対応してもらえることはありがたい、安心であると述べた。

議長 一万田範彦

議題（2）令和 2 年度運営協議会の取組みとして以下にまとめ、意見を求めた。

- ①地域からの要望を吸い上げてもらいたい
- ②建て替え事業に伴う不要物を整備し、地域へ貸出し、或いは提供する。
- ③災害時の発電機・防災機器・非常食の地域への貸出について

委員 全員

異議なく、承認の意を表した。

議長 一万田範彦

議案 3.その他について意見を求めた。

委員	一水 勝徳	令和2年度の災害時避難について、現在の仮設においては海拔が低く河原内川氾濫による浸水が予想されるが、入所者及び地域住民は避難できるだろうか？最近の被災地事例では想定を超える雨量によるものがあり、立地環境に不安があると意見した。
理事長	大島 敏武	氾濫を想定し、浸水回避できる高さまで埋立て工事している。過去の状況より回避できるよう対策している。万が一の場合の避難は、本館4階・5階に避難とする。地域住民の方の避難も、5階としていると述べた。
委員	一水 勝徳	施工状況及び避難受け入れの説明を受け、安堵を述べた。
事務長代理	渡邊 隆	避難申込みにおいて、送迎を要す場合は、避難者・対応者の双方の安全を考慮し事前の気象情報の安全な時間帯での行動をお願いしたい旨を述べた。
委員	吉田 亮	令和元年度8月の避難受入れ実績では、台風上陸の1日前より相談があり、安全に実施できていますと報告した。
事務長代理	渡邊 隆	令和2年度の災害時避難においても本年度同様に安全に配慮した相互協力・連携を依頼した。
議長	一万田範彦	議題の全てについて協議を完了したことを説明し、その他意見を求めた。
委員	全員	異議なく、承認の意を表明した。
議長	一万田範彦	委員全員の承認を確認し、本議題の議決に即して進捗することを報告するとともに、長時間の協議に対する労を謝し、運営協議会を閉会した。

令和02年 1月 30日

議事録署名

社会福祉法人 一志会 理事

会 長

一 才 田 範 彦



居宅介護支援事業所 管理者

副会長

玉 井 照 代



竹中校区自治委員連絡協議会 会長

委 員

安 東 元 夫



竹中校区民生委員協議会 会長

委 員

一 水 勝 徳



通所介護事業所 管理者

委 員

吉 田 亮



